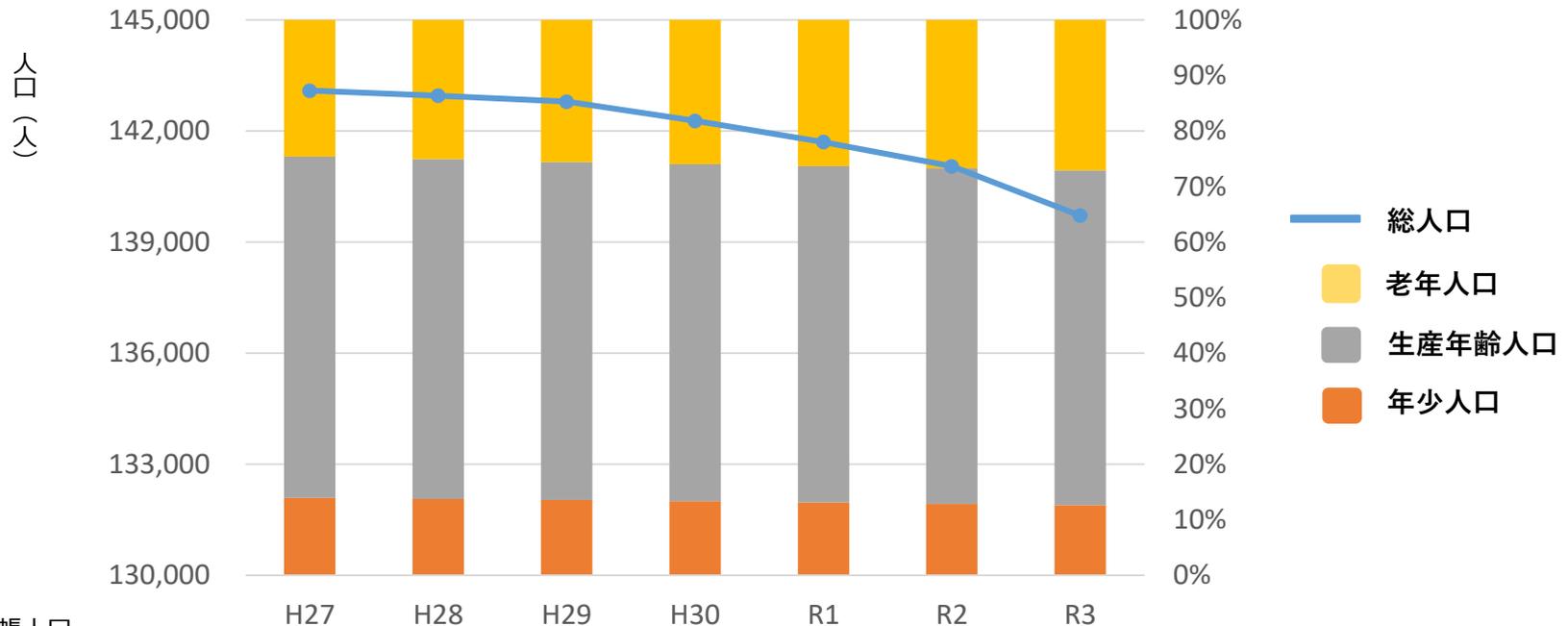


桑名市人口減少対策パッケージ

人口動向の概要【総人口と年齢別人口の推移】

- 総人口は、平成27年の14万3千人をピークに減少し、令和4年2月に14万人を下回る事態に。
- 年齢別人口は、少子高齢化の進行に伴い、年少人口・生産年齢人口が減少し続けているのに対し、老年人口は増加し続けている。
- 特に、令和元年以降、2年間で約2千人という著しい人口減少がみられ、「年少人口」は約900人、「生産年齢人口」は約1,600人の減少となった。

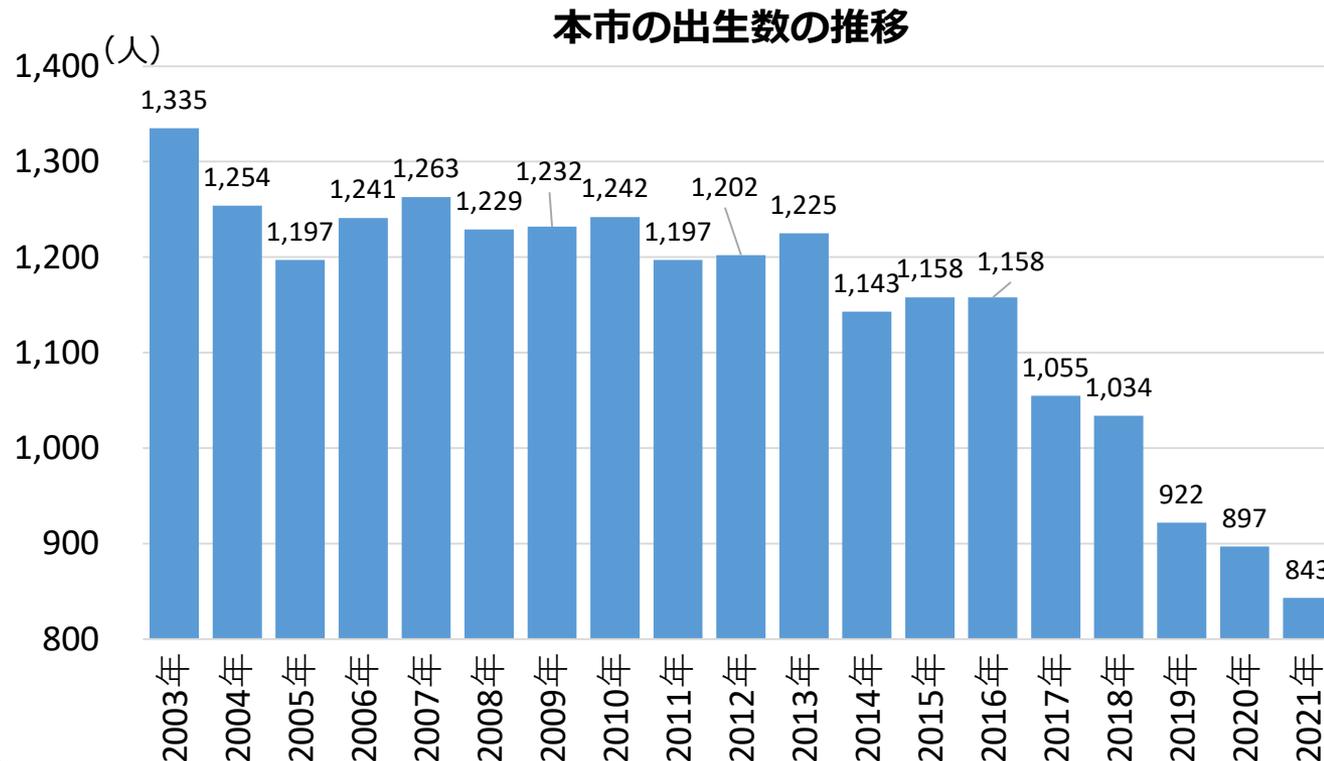
桑名市の総人口及び年齢別人口の推移



出典) 住民基本台帳人口

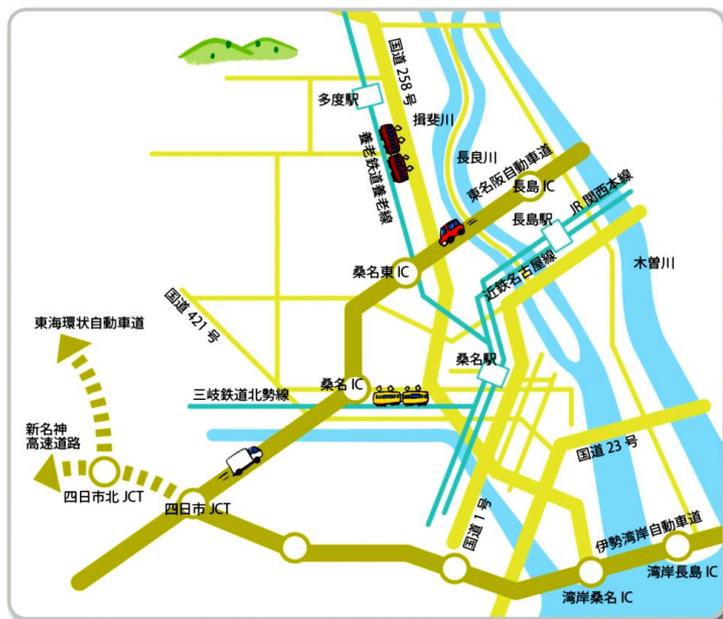
人口動向の概要【少子化の現状】

- ▶本市の出生数の推移については、2016年（平成28年）まで1,200人前後で推移していたが、2019年（令和元年）には1,000人を下回る出生数となり、コロナ禍の影響を受けて、近年は減少が継続している。
- ▶少子化の要因としては、経済的理由や若い世代の未婚化・晩婚化などが要因の一つとして考えられる。



桑名市が持つ地理的優位性・ポテンシャル

- ▶市内には、近鉄名古屋線、JR関西本線、養老鉄道養老線、三岐鉄道北勢線の4つの鉄道と、東名阪自動車道、伊勢湾岸自動車道といった2つの高速道路及び5つのインターチェンジを有しており、名古屋港や四日市港、中部国際空港とも至近の位置にある。
- ▶広域交通の利便性から企業の立地が進み、精密機械、鉄鋼、金属製品などの製造業が集積し、地域経済の拡大につながってきた。今後もこの強みを活かすことで新たな産業が発展する可能性（ポテンシャル）を秘めている。



桑名市人口減少対策パッケージ “14万”リバウンドプラン

フェーズ① 流入促進

令和5年度
対策拡充

「生産年齢人口」の外部からの流入を促進する

R 5 当初

- ・ 移住・定住促進事業
- ・ 桑名駅人口集積促進事業
- ・ 桑名ファンクラブ拡大事業 など

フェーズ② 定着環境整備

令和5年度
対策拡充

「生産年齢人口」が子育てしやすい環境を整える

R 5 当初

- ・ 桑名市版子ども応援手当（児童手当拡大対応）
- ・ 子ども医療費の拡充
- ・ 選べる桑名子育てリフレッシュ事業 など

フェーズ③ 流出抑制等

令和5年度
事業開始

今の子ども・若者の考えや気持ちに寄り添った施策を実施し
将来の「生産年齢人口」を獲得・確保する

R 5 当初

- ・ 出会い・結婚支援事業
- ・ 若者共創社会実現事業

待った無しの人口減少に対し、フェーズに応じた施策をパッケージングし、緊急的に実施。
行財政改革の成果(財政好転)を活かし、機動的な財政出動を行うと共に大胆な一手を打つ！

桑名市人口減少対策パッケージ “14万”リバウンドプラン

<フェーズ①流入促進>

- ・ 移住・定住促進事業費（政策創造課）
- ・ 移住支援事業補助金（商工課）
- ・ 桑名ファンクラブ拡大事業費（観光課）
- ・ 桑名駅周辺人口集積促進事業費（政策創造課）
- ・ 企業等誘致奨励金（商工課）

<フェーズ②定着環境整備>

- ・ 桑名市版子ども応援手当（児童手当拡大対応）（子ども未来課）
- ・ 子ども医療費（子ども未来課）
- ・ 保育料の多子軽減（子ども未来課）
- ・ 選べる桑名子育てリフレッシュ事業（子ども未来課）
- ・ AIチャットボットによる子育て応援事業費（子ども未来課）
- ・ 待機児童対策事業費補助金（子ども未来課）
- ・ 私立保育園整備補助金、認定こども園整備補助金（子ども未来課）

<フェーズ③流出抑制等>

- ・ 出会い・結婚支援事業費（政策創造課）
- ・ 若者共創社会実現事業費（政策創造課）

移住・定住促進事業費



令和5年度当初予算額

5,330万円

県外及び市外から桑名市へ働く世代の流入をより一層促進し、移住・定住を推進するため、以下の条件に合致し、市内で住宅を取得した方に、

最大100万円 の補助金を交付する。

／ 桑名市独自の補助制度 ／

対象者

県外及び市外から本市へ移住する目的で住宅取得（新築・中古）した方

条件

45歳以下（単身・夫婦）かつ5年以上定住する意向の方

補助額

最大100万円

※（基本）60万円

（加算）①若年夫婦（29歳以下）30万円

②市内企業就業 10万円



《 拡 充 》

移住支援事業補助金

令和5年度当初予算額

300万円

東京圏の一極集中の是正、桑名市内における移住・定住の促進及び地域の中小企業の人手不足の解消を図るため、以下の条件に合致した東京圏から桑名市に移住した方に、移住支援事業補助金を交付する。

対象者

住民票を移す直前の10年間のうち通算5年以上、東京23区に在住又は東京圏に在住し、東京23区に通勤していた方

条 件

次の①～③のいずれかに該当すること

- ①移住・マッチング支援事業を利用して市内の事業所に就業
- ②プロフェッショナル人材事業又は先導的人材マッチング事業を利用して市内の事業所に就業
- ③テレワークで移住元での業務を引き続き行う

補助額

単身者 60万円

2人以上の世帯 100万円

(子育て世帯加算) **100万円** / 18歳未満の世帯員の数

(令和5年4月1日以降の転入者)

移住・定住促進事業費と移住支援事業補助金との比較



	移住・定住促進事業費	移住支援事業補助金
対象者	県外及び市外から本市へ移住する目的で住宅取得（新築・中古）した方	住民票を移す直前の10年間のうち通算5年以上、東京23区に在住又は東京圏に在住し、東京23区に通勤していた方
条 件	45歳以下（単身・夫婦）かつ5年以上定住する意向の方	次の①～③のいずれかに該当すること。 ①移住・マッチング支援事業を利用して市内の事業所に就業 ②プロフェッショナル人材又は先導的人材マッチング事業を利用して市内の事業所に就業 ③テレワークで移住元での業務を引き続き行う
使 途	住宅取得（新築・中古）	自由
補助額	最大100万円 （基本）60万円 （加算） ①若年夫婦（29歳以下）30万円 ②市内企業就業 10万円	単身者 60万円 2人以上の世帯 100万円 （子育て世帯加算）100万円／18歳未満の世帯員の数

※移住・定住促進事業と移住支援事業補助金は併用可能



《新規》

桑名ファンクラブ拡大事業費

令和5年度当初予算額

548万3千円

桑名市の認知度向上を通じて、市への移住の裾野を拡大させるため、関係人口の拡大を図ることを目的に桑名ファンクラブの会員を募集します。

1. 桑名ファンクラブに会員登録



デジタル会員証

登録者全員に300円分の電子マネーやポイント等豊富なラインナップの中から選べるデジタルギフトをプレゼント！

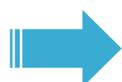


- **事業開始**
8月頃予定
- **対象者**
市外在住者

2. 桑名へ行こう



市内店舗でQRコードを読み込み、ポイントを貯める。



抽選で桑名の特産・名産品をプレゼント！

＼会員になるとこんな特典があります／

- ◆ 会員の方だけに桑名のイベント・お得な情報等を定期的にお知らせします。
- ◆ 「会員様特別プレゼント企画」を実施します。
(例) 桑名宿泊2,000円・買い物1,000円のクーポン、桑名ならではのギフトやナガシマリゾート企画（遊園地、プール、なばなの里）等、抽選でプレゼント！



《新規》

桑名駅周辺人口集積促進事業費

令和5年度当初予算額

2,000万円

桑名駅周辺において一定規模以上の共同住宅等居住系の建築物の建築を行おうとする者に対して補助を行い、商業業務の活性化及び魅力あるまちづくりの整備促進と合わせて人口減少対策を図る。

対象者

特別用途地区内において、新築・増築等を行う個人及び法人 ※大規模改修・模様替えは対象外

条件

一定規模（延べ面積1,000㎡以上）、新規居住スペース20戸以上

補助額

対象建築物当り

1,000万円



企業等誘致奨励金



令和5年度当初予算額

3,741万4千円

本市の産業構造の高度化及び多様化を促進するとともに、企業の振興、産業の発展、市勢の進展を図るため、企業立地に関する基本協定を締結した企業へ立地奨励金を交付する。

対象施設 <small>※ 立地は指定区域内にあること</small>	投下固定資産額	奨励金の交付
製造業・植物工場	5億円以上 (大企業) 1億円以上 (中小企業)	交付額 (固定資産税額に対して) 1年目 100/100 2年目 75/100 3年目 50/100 <small>※ 1年間の交付限度額は1億円</small>
研究施設等	3億円以上	
情報処理業の施設	1億円以上	
宿泊施設 <small>※桑名市宿泊施設誘致促進条例の奨励措置と併用可能</small>	5億円以上	
市内の中小企業で住工混在 地域にある工場の移転	1億円以上	

定住促進奨励金



市内の新規雇用の創出・生産年齢人口の定住化を推進するため、以下の条件に合致した事業者に対して、

最大 1 億円 の補助金を交付する。

対象事業者

市が奨励措置対象事業者として指定した企業
※施設の移転・増設・新設時

条 件

「市民を新規雇用」又は「転勤による市内転入」し、
1年以上継続勤務

補助額

30万円/人

上限額

5,000万円/回、
1億円/事業者





中部エリア初



令和5年度当初予算額 2億1,660万8千円

児童手当・特例給付を一定の所得を超えていることにより受給できない方と、児童手当・特例給付の対象年齢でない中学校卒業後～18歳年度末までの子どもの保護者等に対して、**桑名市独自の手当**を支給します。

対象児童数：5,000人（所得超過概ね1,000人＋年齢拡大概ね4,000人）

支給時期：6月分から支給（6月から9月分は10月に支給、10月から1月分は2月に支給）

支給額：子ども1人当たり月額5,000円

《新規》

桑名市版子ども応援手当事業費

令和5年度当初予算額 2億1,660万8千円



現行の児童手当と桑名市版子ども応援手当との比較

	児童の年齢など	手当の額（一人あたりの月額）	
		現行	6月以降 (10月振込開始)
児童手当 ・特例給付	0歳から中学生まで	年齢により 10,000～15,000円	引き続き 児童手当の対象
	特例給付対象 <small>(所得制限限度額以上所得上限限度額未 満の0歳から中学生までの子ども)</small>	5,000円	
桑名市版 子ども応援手当	所得上限限度額以上の 0歳から中学生まで	0円 児童手当の対象外	5,000円 所得制限なし
	中学校卒業後から18歳年度末まで		

《 拡 充 》

子ども医療費

18歳年度末まで
窓口負担無料化は

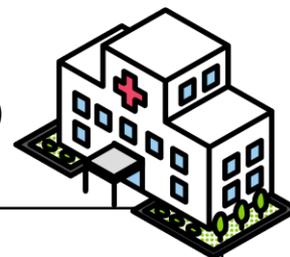
県内初



令和5年度当初予算額 5億394万9千円
(うち拡大対応分 8,641万1千円)

子ども医療費助成制度について、全ての年齢で所得制限を撤廃するとともに、窓口負担をなしで対象年齢を18歳（高校生相当）まで拡大します。

拡大対象者数：6,000人（所得超過概ね2,000人＋高校生概ね4,000人）



	現行	拡大後
所得制限	あり	【令和5年4月診療分から】 なし
対象年齢	0歳から15歳年度末まで (中学校卒業まで)	【令和5年9月診療分から】
窓口負担無料の範囲 (現物給付対象者)	0歳から6歳年度末まで (未就学児まで)	0歳から18歳年度末まで (高校生相当まで)



《 拡 充 》

保育料多子軽減制限撤廃

多子軽減対象を拡大

令和5年度当初予算 歳入 ▲3,604万円
歳出 +1,508万円

現行の制度では、保育料の多子世帯軽減について世帯の年収や年齢などの制限があるが、令和5年4月から保育施設に通うすべての世帯で、0歳～2歳児のきょうだいの保育料を第2子を半額、第3子を無料とする。

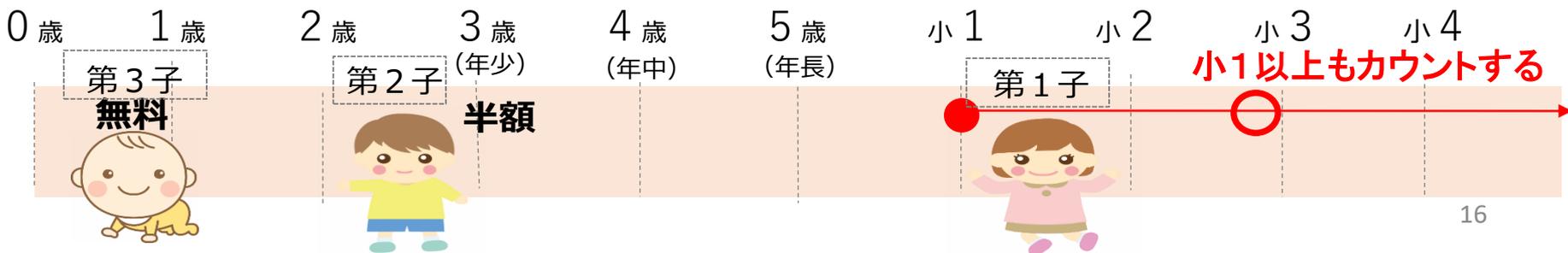
【現行】 (2. 3号認定)

未就学前の子を第1子としてカウントする。(小1以上はカウントしない)



【令和5年4月から】 (2. 3号認定)

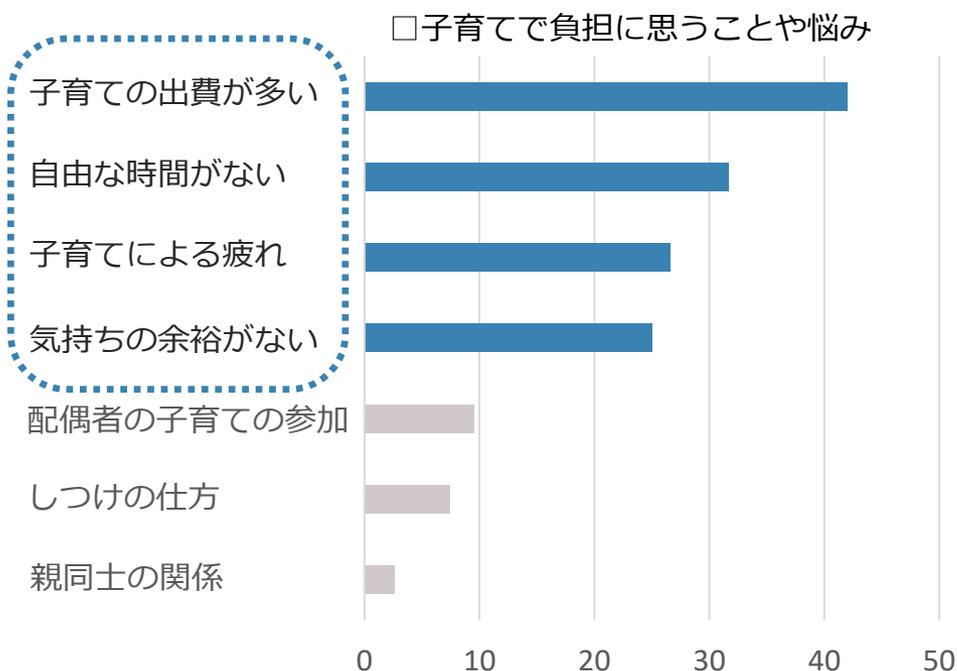
すべての子を第1子としてカウントする。





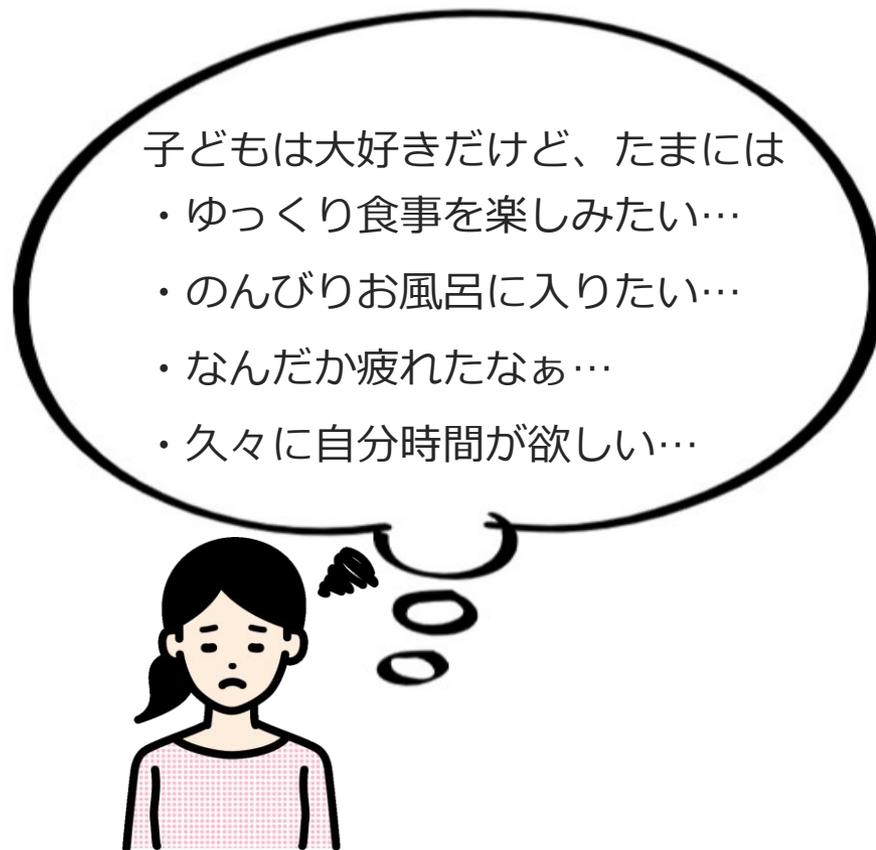
令和5年度当初予算額 1,394万6千円

子育てするママ・パパの悩み



参考：厚生労働省:21世紀出生児縦断調査結果の概況

桑名で子育てするママ・パパからも…



忙しいママ・パパにリフレッシュできる時間を！



《新規》

選べる桑名子育てリフレッシュ事業費

全国初!?

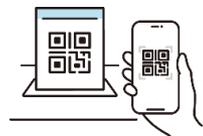
令和5年8月頃開始予定

令和5年度当初予算額 1,394万6千円

市内の民間事業者と協力し「食と心と身体の健康」をテーマとした自分時間を満喫できる、選べるプレミアムなプランを提供！

対象

1歳未満の子どもの保護者



支給

選べるプレミアムデジタルチケット

11,000円分 (5,500円分×2枚)

一時預かりチケット

3,000円分

※子ども1人につき支給

例

ヨガと温泉とランチ、マッサージとランチ等

久々にゆっくり温泉とランチ♪リフレッシュできた～

【一時預かりサービス】



桑名市は子育てするママ・パパを全力で応援します！

《新規》

AIチャットロボットによる子育て応援事業費

県内初

令和5年8月頃開始予定

令和5年度当初予算額 926万9千円

AIチャットロボットを活用し、24時間365日いつでも
子育てに関する知りたいことや疑問を解決できるようにします！



子育て世代の抱える悩み

- ・ 子育て情報の多さ、複雑さ
- ・ 子育てを気軽に相談できる人がいない
- ・ 日中は仕事で市役所に行けない
- ・ 桑名の子育てサービスは何かあるの？
- ・ 外国人の方の初めての日本での子育て

AIチャットロボットで悩み解決

- ・ 子育ての経験者とつながる仕組みを構築
- ・ スマホ、PCで休日、夜間も対応
- ・ 転入者や初めて子育てする方へ桑名の子育て支援を紹介
- ・ 多言語対応で外国の方の子育てを応援

桑名市は子育てするママ・パパを全力で応援します！

《 拡 充 》

待機児童対策事業費補助金

待機児童対策

令和5年度当初予算額

1億2,806万8千円

保育ニーズが高い水準で推移する中、待機児童を出さないためにも私立保育園等に対する事業補助を行い、低年齢児等の受け入れを推進する。

【各補助金の内容】

①低年齢児保育量拡大補助金（基本分+加算分）

0・1歳児の受入れ確保を図るとともに、担当する保育士の人件費を補助する。

②障害児加配保育士等人件費補助金

障害児（3歳児クラス～）を保育するための加配保育士人件費を補助する。

③アレルギー除去食対応補助金

増加するアレルギー児に対応するための補助を行う。



私立保育園整備補助金 認定こども園整備補助金



保育環境整備

令和5年度当初予算額（私立保育園）2億6,036万5千円
（認定こども園） 4,011万7千円

私立の保育施設が新たに改修を行うための費用を補助することで、受入れ枠の拡大と保育環境の推進を図る。

【対象施設①】

社会福祉法人アパティア福祉会
（西川第二保育園）

【事業スケジュール】

令和5年4月 補助申請
令和6年3月 新園舎完成予定
令和6年4月 開園予定

【実施場所】

桑名市長島町東殿名地内
（現在ある西川第一保育園、西川第二保育園を統合）

【対象施設②】

社会福祉法人耕逸山児童福祉協会
（耕逸山たどこども園）

【事業スケジュール】

令和5年8月 補助申請
令和6年12月 新園舎完成予定
令和7年4月 開園予定

【実施場所】

桑名市多度町多度地内





全国初！

令和5年度当初予算額

134万2千円

1. マッチングアプリ「Pairs」との連携による出会い支援

※公民連携事業により市財政負担ゼロ

桑名市と(株)エウレカとの連携協定に基づき、マッチングアプリの有効活用、安心・安全な利用等についてオンラインセミナーを開催し、参加者にデジタルギフトコードをプレゼントする。



東海地方初！

2. 仮想空間「メタバース」を活用した婚活イベント

デジタル技術の進展の中で、仮想空間「メタバース」を活用した婚活イベントを開催する。DX推進とともに、市民の恋愛や結婚の希望が叶うきっかけづくりを提供する。



令和5年度当初予算額

97万8千円

1. 若者の行動や価値観等に関する幹部職員向け研修開催

若者の動向・思考等に関して研究を行っている事業者より講師を招き、幹部職員向け研修を開催し、講義、ディスカッションを通じて、若者の考え・気持ちに寄り添う施策立案のヒントを得る。



【講師予定】株式会社博報堂 若者研究所リーダー ボヴェ 啓吾氏

1985年生まれ。法政大学社会学部社会学科卒。2007年(株)博報堂に入社。マーケティング局にて多様な業種の企画立案業務に従事した後、2010年より博報堂ブランドデザインに加入。ビジネスエスノグラフィや深層意識を解明する調査手法、哲学的視点による人間社会の探究と未来洞察などを用いて、ブランドコンサルティングや商品・事業開発の支援を行っている。2012年より東京大学教養学部全学ゼミ「ブランドデザインスタジオ」の講師を行うなど、若者との共創プロジェクトを多く実施し、2019年より若者研究所リーダー。著書『ビジネス寓話50選-物語で読み解く、企業と仕事のこれから』

2. 「サステナ部」活動を支援する環境整備

サステナブルなまちづくりに取り組むため、学生が主体となった桑名市部活「サステナ部」について、メタバースやオンライン会議を活用できる環境整備を図り、若い世代の成長を促し、未来人財の創出につなげていく。

